



にししんじゅく 西新宿「れもんハウス」の3周年記念イベントを開催します。

「れもんハウス」3周年記念イベントー知る・感じる・創るー

にししんじゅく 西新宿に「れもんハウス」を開いてから、あっという間に3年が経ちました。今のよう
にれもんハウスがたくさんの人たちに愛されるようになるまで、様々な出来事をと
もに乗り越え、支え合ってきた皆さんへ厚く御礼申し上げます。

今回はその感謝を表すと同時に、3年間の足跡を振り返りながら、れもんハウスの
未来を考える、そんな1日を皆さんと過ごしたく、本イベントを開催いたします。

トークセッションやワークショップ、その他の展示など、イベントコンセプトである
「知る・感じる・創る」に触れられる企画をご用意します。初めての方でも大歓迎で
す。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



テーマ：「知る・感じる・創る」に込められた思い

このイベント企画する中で、「れもんハウスの3年間を知ってほしい」、「今のれもんハウスが大事にしていること、みんなで作ってきた雰囲気を感じてほしい」、「これからより多くの人たちと一緒にれもんハウスを創っていききたい」などの言葉が出てきました。「知る・感じる・創る」はそんな思いを込めたテーマです。

れもんハウスの過去を知り、今を全身で感じ、未来をともに創る、そんな場が生まれることを楽しみにしています。

イベント概要

<日時>

2024年12月14日（土） 11:00~21:00（10:30開場・20:00最終入場）

<場所>

ひらやないえ（東京都新宿区西新宿四丁目17-6）

都営大江戸線「西新宿五丁目駅」から徒歩4分、東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」から徒歩15分

<入場料・申し込み方法>

ご入場にはPeatix上での事前のお申し込みが必要です。また、入場料はカンパ（寄付）制です。Peatix上に、寄付付きチケットもご用意しておりますので、入場チケット選択画面から、任意のチケット1枚をお選びください。トークセッション・ワークショップ・出張ご近所ごはん会は各企画によって参加枠に限りがあるため、お一人様1枠までのご参加・先着予約制とさせていただきます。参加をご希望する企画をチケット選択画面からお選びください。

※企画チケットは内容確定次第、申し込み開始いたします。各企画へのご参加を希望される方は先に入場チケットのみお申し込みの上お待ちください。

万が一キャンセルする場合はお早めのご連絡をお願いいたします。

また、予約が必要ない企画や入場自体には定員はありませんが、場合によっては入場制限や整理券の配布をさせていただく可能性がございます。

【例】

- イベントへの入 場 / 予約が必要ない企画のみのご参加を希望する場合→任意の
入 場 チケット 1枚のみを選択
- 予約が必要な企画へもご参加を希望する場合→任意の入 場 チケット 1枚 + 各
企画用のチケット 1枚の計2枚を選択

<主催・お問い合わせ>

主催：一般社団法人 青草の原

お問い合わせ先：info@aokusa.or.jp

タイムテーブル（予定）

タイムテーブル			
	メインルーム	キッチンほか	わしつ
10:30	かいかん		
11:00	トークセッション① 『れもんハウスのかこ・げんざい・みらい』	カフェ	
12:00		やきいも	
13:00	ワークショップ①	れもん	ワーク ショップ④
14:00	トークセッション② 『かそくからひとやすみできるば『れもんハ ウス』といっしょに"かそく"をとってみる』	※れもんハウスに かかわるいろんな ひとのおはなしが きけます れもんとしょかん のみ18:00まで	じょうせつ てん
15:00			こども スペース
16:00	ワークショップ② 「たいわの会」		
17:00	ワークショップ③ 「ボードゲームのかい」		ワーク ショップ⑤
18:00			
19:00	しゅっちょう ごきんじょごはんかい		
20:00			
21:00			へいかん

しゅさい: いっぱんしゃだんほうじん あおくさのはら

【常設展示】

トークセッション等への参加が難しい方でもイベントを楽しんでいただけるよう、年表、相関図、言葉や写真、ムービーなど各種制作物を展示いたします。想いが詰まった展示物から3年間の歩みを知り、その時々感情のやり取りを感じていただければと思います。

【トークセッション】

トークセッション①（11:00~12:00）「れもんハウスの過去・現在・未来」[定員20名・要予約]

青草の原の事務局メンバーや、れもんハウスの住人、イルひと(※)などによるセッションです。これまでの過程や出来事、各メンバーの心の動きや価値観、そして3周年を迎えたれもんハウスを取り巻く環境や未来の姿について考えます。

イルひととは：「あなたでアルことともにイルこと」を実現する空間をつくるひと。社会の中、学校や家族、職場等の中で与えられている「役割」ではなく、あなたがあなたとしてアル、そしてともにイル、を体感できる場と時間、関係性を様々な形で育んでいるひと。

トークセッション②（14:00~15:00）「家族からひと休みできる場「れもんハウス」と一緒に"家族"を問うてみる」[定員20名・要予約]

「れもんハウス」は、様々な人にとって家族からひと休みできる場です。しかし、そもそも「家族」とは何でしょうか？

普通とされる家族の形や役割を問い直すこと。そして、育児や介護など多くの責任が「家族」に求められる社会に疑問を持つことで、「家族」をほどいていくトークセッションです。

この企画は、「話す人/聞く人」を予め決めず、話したい人は話し、聞きたい人は聞くラウンドテーブルのような形式で行います。

【ワークショップ】

ワークショップ① (12:30~13:30)「調整中」

順次公開。

ワークショップ② (15:30~16:30)「イルひとまきちゃんによる対話の会」[定員 7名・要予約]

れもんハウスで1番多く場を開いている、対話ファシリテーターのまきちゃん！ほっとひと息つけて、ぽろっと言葉が溢れ出し、それを誰かが聴いてくれる、そんな場だという噂を聞いています。

ワークショップ③ (17:00~18:00)「イルひととけしさんによるボードゲームの会」
[定員 7名・要予約]

子どもから大人まで、ごちゃまぜになって楽しめると、普段から大人気のとけしさんによるボードゲームの会！

ワークショップ④ (12:30~13:30)「調整中」

順次公開。

ワークショップ⑤ (17:00~18:00)「調整中」

順次公開。

【特別企画「出張 ご近所ごはん会」】(18:30~21:00) [定員10名・要予約]

れもんハウスが毎月主催する「ご近所ごはん会」の特別版を実施いたします。

普段は新宿エリアの家庭を主な対象とし、ご近所同士でひとつの食卓を囲みますが、今回のご近所ごはん会はどなたでもご参加いただける企画です。

まるで親戚の家でご飯を食べているような、れもんハウスの「ご近所ごはん会」をぜひ体感してください。

【れもん図書館】(11:00-18:00予定) [予約不要]

れもん図書館ではれもんハウスで生きるひとを『本』としてあなたに貸し出します。



れもん図書館 での過ごし方

れもん図書館へようこそ！

ここでは、れもんハウスで生きるひとを『本』としてあなたに貸し出します。

れもん図書館の利用方法



- ①受付で好きな『本』を選んでください。
(貸し出せるのはその時間に「貸し出し可能」な『本』のみです。貸し出し中の場合は予約も可能です。)
- ②『本』の話を聞いたり、質問したりできます。
- ③30分経ったら『本』は書庫に戻ります。
(予約している人がいなければ同じ『本』を借りることもできます。)

『本』を傷つけないで、大切にしてください。状況により、本の貸し出しを中止する場合があります。



貸出について

借りられる時間: 30分

同じ『本』を同時に借りられる人数: 8人まで



『本』一覧

随時更新します。

【情報保障について】 当日、『本』は日本語でお話します。 情報保障(UDトーク) があります。お手数ですがお申し込みの際にお知らせください。 その他にもご希望の情報保障があればお知らせください。

いっぽんしゃだんほうじんあおくさ はら 一般社団法人青草の原とは

「あなたでアルこと、ともにイルこと」^{じぶん}自分として^{たいせつ}大切にされる^ば場と^で出会いをつくり、^{ひろ}広げる。それぞれが、^{じぶん}自分として^{たいせつ}大切にされ、^{あい}愛され、^{あんしん}安心できる。生きるために必要な、^{ひつよう}栄養と^{えいよう}休息を^{きゆうそく}得られる。そんな^ば場と^{かんけいせい}関係性をつくり、^{ひろ}広げるための^{かつどう}活動をしています。



れもんハウスとは

「あなたでアルこと、ともにイルこと」の^{じっけんきょてん}実験拠点。れもんハウスでは、^{だれ}誰もが「^{なにもの}何者でもない、わたし」として^{たしや}他者に^で出会い、^{やくわり}「役割」がない^{じょうたい}状態から、^{かんけい}関係を^{きず}築いていきます。そのような^ば場と^で出会いを作るために、^{つぎ}次の2つのことを^{おこな}行っています。



① ^{にちじよう}日常の中での^{なか}役割から^{はな}離れて、^{あんしん}安心して^す過ごせる^ば場 一歩^{いっぽふ}踏み出し、^{あた}新しいこと
に^{ちようせん}挑戦できる^ば場

^{とうろく}登録をしている「イルひと」が、それぞれの^{ほうほう}方法で「アルイル」の^{くうかん}空間を^{つく}作っています。

ごはんを^た食べたり、対^{たい}話^わの会^{かい}をしたり、それぞれ好^すきなことをしていたり。

少^{しょう}人^{にん}数^{ずう}でゆっ^じたりの時^{かん}間^{かん}もあれば、大^{おお}人^{にん}数^{ずう}でわいわいしている時^{とき}もあります。

来^きた人^{ひと}たちが「こんなことをしてみたい」ということを挑^{ちょう}戦^{せん}する場^ばにもなっています。

②我^わが家^やのよう^とにくつろげ、お泊^とまりもできる「第^{だい}二^にの家^{いえ}」

子^こどもでも、親^{おや}子^こ一^{いっ}緒^{しょ}でも、若^{わか}者^{もの}でも。

「お母^{かあ}さんだから」「家^か族^{ぞく}だから」そんな役^{やく}割^{わり}を背^せ負^おうこと^{すこ}から少^{はな}し離^きれて休^{きゅう}息^{そく}が取^とれるよう、れもん留^{りゅう}学^{がく}としてお泊^とまりができます。

れもんハウスのような場^ばを広^{ひろ}げることに関^{かん}心^{しん}がある若^{わか}者^{もの}が泊^とまることもあります。

※新^{しん}宿^{じゅく}区^こ子^こどもシヨートステイの受^うけ入^いれ先^{さき}にもなっています。